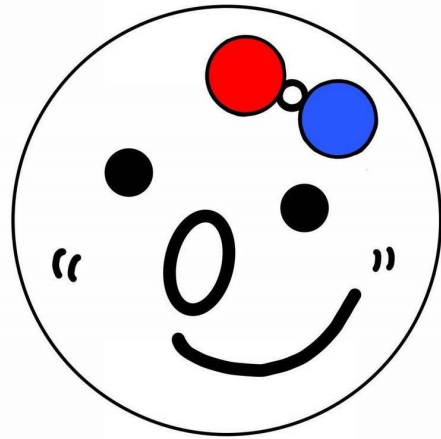


## チャレンジ eボッチャ！ プロジェクト 2022-23

重度障がい、在宅、病院、ホスピスの子ども達と同年代の子ども達とのeボッチャ！による交流事業



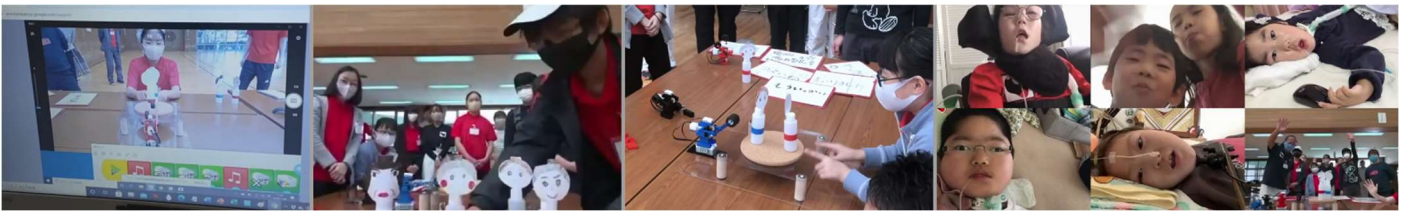
NPO-BLACKSOX 「スポーツ、遊びでみんなの靴下をまっ黒に」

2002年活動開始より障がいの種類、程度を問わずみんなでスポーツを楽しむ機会を作ってきました。



スポーツだけでなく ICT 機器の体験プログラム、それをイベント参加中のコミュニケーションで実際に使用してみる機会も作ってきました。「そして新型ウィルス感染症が始まりました。」

オンラインの画面上で完結するテレビゲームではなく、会場にあるモノで会場の子も達と遊び「あの場所に行きたい!」「みんなと遊びたい!」と思ってもらえるようオンライントントン相撲ゲームを作りました。



今年度、eボッチャシステムを購入しました。

小さな力、小さな動き、得意な動作で PC、スイッチを使ってボッチャのランプを電動で制御し、オンライン画面からでも会場でもボッチャが可能となり、競技性、習熟度を上げる楽しさ、オンラインで練習を積むことにより会場の健常児に勝てるなど、子ども達に新たなチャレンジの機会になると考えています。

ボッチャはパラリンピックにも採用されており、大会も各地域で開催され、習得により将来にわたる社会参加・QOL 向上に繋がると思います。ボッチャ指導者となることも視野に入れ練習機会を作っていきます。

また PC、ICT 機器に楽しく親しむ機会により ICT 習熟度が進み、将来の就労、電動車いすでの移動の自由、電動車椅子サッカーでの活躍などのきっかけ、準備につながれば、と思っています。

## 【背景】

難病（小児慢性疾病対象者）と言われている子どもが日本には 15 万人から 20 万人、生命の脅かされた子どもは 2 万人いると言われています。その子たちは長い入院治療生活などを余儀なくされています。

1 万 8 千人と推計されている基礎疾患を持つ医療的ケア児、重度障がい児は感染症対策のため外出などの制限を受けています。

その子たちは感染症のため施設の往来の抑制、イベントの中止などが重なり、同年代の子ども達、地域社会との遊び、交流体験による子ども達の大事な心身、社会性の発育の時期、機会を逃してしまわぬか、将来にわたっての不安を感じています。

## 【目的と解決したい課題】

重度障がい、在宅、病院、ホスピスの子ども達が同年代の子ども達とオンライン、オフラインで安心、安全に誰でも操作可能な電化ボッチャシステム（e ボッチャ！）を体験、練習、対戦を体験する中で「みんなで一緒に」「楽しい」「出来た」「伝わる」を感じ、地域社会との接点、コミュニケーションを持つことによって「チャレンジスポーツ！会場で一緒に遊びたい」「ボッチャで大会出場」など、子ども達が目標を持てる未来を創ることを目指します。

### ※ホスピスの子ども達について

生命に期限が付き、残りの時間を家族との思い出作りに過ごす子ども、保護者の方々がいます。

その子達にみんなで一緒に「楽しい」を感じてもらいたいです。

また、同年代の子ども達、地域社会を構成する人々がその子たちと接することにより、命の尊さ、健康の大事さ、ホスピスの重要性、などを感じることでできる機会にもなれば、と思っています。

### (1) 重度障がい、在宅、病院、ホスピスの子ども達

大事な心身、社会性の発育の時期、機会である同年代の子ども達、地域社会との遊び、スポーツ機会、交流が少い。病気、感染症、非力、未経験などで制限のある子ども達が同年代の子ども達と安心、安全に参加できる場所、参加可能なプログラム、「みんなで一緒に」「楽しい」「出来た」の機会を作ります。

### (2) 子ども達の家族

病児、健常児含めた子ども達の発育に対する情報、社会参加の意味の確認、長い入院治療からの孤立感の減少などを共有、共感できる新しいコミュニティ醸成のきっかけのお手伝いをします。

### (3) 同年代の子ども達、地域社会

外に出て存在を知ってもらいづらい現状で、将来の地域社会参加に必要な障がい・難病への理解、具体的な協力内容などを広めるきっかけとし、将来の地域社会での受け入れを目指して、同年代の子ども達、その家族、地域社会との楽しい接点の場作りのお手伝いをします。

## 【実施プログラム】

### 1 オンライン-オフライン e ボッチャ！練習会

対象者：オンライン、オフラインともに重度障がい、在宅、病院、ホスピスの子ども達、健常児、スタッフ

日程：適宜 毎月 1 回

病気、感染症、非力、未経験などで制限のある子ども達が安心、安全に参加・操作できるオンライン e ボッチャ！

に親しむための体験、練習を行うとともに健常児も含め会場参加も募り、自己紹介など「一方通行でない」コミュニケーションを取る練習会。

休日にホスピス、障がい児者施設などをお借りしての開催のみでなく、BLACKSOX が毎週金曜日に開催している【よこはまスポーツコミュニティ】にeボッチャ！をプログラムに入れ、毎週の体験・練習の機会を作ります。オンライン、オフラインともに重度障がい、病気の子ども達にも毎週の「習い事」を楽しみにしてもらえれば、と考えています。

## 2 チャレンジスポーツ！イベント（過去 14 回開催） 当法人主催

対象者：病気、障がいにかかわらず地域社会の子ども達、その他

※ 1 練習会参加の子ども達の「お披露目の場」として会場の年代の子ども達と対戦します。

日程：2022 年 12 月 11 日（東京） 2023 年 3 月 26 日（横浜）開催

チャレンジスポーツ！ではeボッチャ！以外にも初心者、重度障がい児も楽しめるプログラムが多数あり、オンラインではeボッチャ！オンライン対戦、その様子を見る、そして会場参加も出来ます。

「あの会場（オフライン）でみんなと一緒に遊びたい」という想いを未来に持てるようなイベントにします。

2023 年度以降も年 4 回の開催予定。

## 3 スポーツミーティング（スタッフ募集、研修ミーティング）

対象者：活動に興味のある（主に）社会人 そして学生、子ども達

日程：月に 1 回以上

「スポーツ・ボランティア未経験、在宅、病院、ホスピスの子ども達と接するのが初めての方大歓迎」で「活動に興味のある子ども達、学生、社会人」を募集しその人の特性を見て、ICT 知識他、適材適所の配置を図ります。スタッフ間での情報共有、研修なども兼ね、eボッチャ！練習会、オンライン設定、イベントなどでのブース担当、コミュニケーションを取りながらその子に合った機器の操作の仕方、遊び方、ルールの説明、当日学生ボランティアへの情報共有など、プロジェクト運営を共に担ってまいります。

### 【未来】

どのような障がい、病気の子ども達も、同年代の子ども達との交流、遊びで自信をつけ、PC、ICT 機器、電動車いす、自動運転車など操作し就労、移動、スポーツ、遊びなどの選択の自由を得ることが出来る。

地域社会の皆がそのような文化を作り出す一員としてシビックプライドを持てる未来を創る一助となるプロジェクトとしたいです。